

#### ④スイッチOTCに関する研究会

名称	④スイッチOTCに関する研究会		
目的	スイッチOTC化の促進を図るために必要な条件等を薬学的観点から考察し、かつ国民の安心・安全を確保し、OTC薬の普及促進のために必要な環境、条件等について提言する。		
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スイッチOTC薬を普及促進するために必要な薬剤師の資質について</li> <li>・公的医療・介護保険制度を持続するためにスイッチOTC化の果たす役割について</li> <li>・処方せん調剤とスイッチOTC化販売に係る薬剤師の資質について</li> </ul>		
代表者	役職名	氏名	法人名・役職
	座長	太田 伸	東京薬科大学 前副学長
	副座長	渡邊 謹三	東京薬科大学 一般用医薬品学 教授
達成内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スイッチOTC薬販売に必要な薬剤師の資質についての考察</li> <li>・スイッチOTC化の新スキームについての提案</li> </ul>		
成果物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スイッチOTC薬販売に必要な薬剤師の資質に関する報告書をまとめる</li> <li>・スイッチOTC化の新スキームに関する報告をまとめる</li> <li>・一年の成果を報告会または学会年次大会で報告する</li> </ul>		
活動内容 方法	・研究会を開催する中で、関係団体等とのヒアリングを行う。		
研究会開催 スケジュール	・1～2カ月に1回程度の研究会活動、1年に1回報告書をまとめる		
運営方法と ルール	議事録作成者は横田		
備考			